

第4回「消防職員等や医療従事者のための CBRNE テロ・災害と現場の対応 担当者養成講習会」(案)

一消防職員等や医療従事者の CBRNE 災害対策担当者等が知っておくべきこと一

1 級認定コース 日医生涯教育制度 4.5 単位認定 (申請中)

主催 NPO 法人 NBCR 対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会 (申請中)、全国消防長会 (申請中)

開講 (オンライン参加及び会場参加) のご案内

世界ではあらゆるところで、テロを含む人為的災害、自然現象等に起因した特殊な災害が多発しております。最近の英国における神経剤「ノビチョック」による殺人未遂事件やマレーシア・シリア・英国等における有毒化学剤によるテロ頻発や戦場での化学兵器の使用、米国における大規模塩素流出事故、或いはスリランカにおける爆弾テロなどにより、子供を含む市民や軍人等が多数死亡しています。また、日本の国内においても、2018 年 1 月の群馬県・草津白根山の噴火による死傷者の発生等、連日のように「まさか」と思うようなテロや事件・事故が発生しております。本年 7 月の東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、また、全国各地で開催されるビッグ・イベント等に備え、特に、爆弾テロや毒性化学物質等による化学テロを始めとした CBRNE 災害と医療対策の重要性が改めて認識されております。

この度、別紙の通り新型コロナの全国的な流行拡大等も考慮して、オンライン講習会を主体とした、「各種テロ・災害と現場の対応」を主体に消防職員等や医療従事者のための「CBRNE テロ・災害と現場の対応担当者養成講習会」(消防職員等や医療従事者の CBRNE 災害対策担当者等が知っておくべきこと) (1 級認定コース) を開講することと致しました。今回の講習会では、災害と医療、化学テロ・化学災害、バイオテロ・バイオ災害、放射線テロ・放射線災害、核テロ・核関連災害、爆発物テロ・爆発物災害等の各種災害と医療対策、消防と医療の連携などの CBRNE 全般に亘る現場の対応に焦点を当て、これらの災害事態に対し対処能力の向上が図れる講習会を企画いたしました。

特に、本講習会は、東京オリンピック・パラリンピック直前の災害対策として我が国の CBRNE テロ・災害と現場での対応について全般に亘って真に役立つ危機管理コース (CBRNE 危機管理者 1 級認定) としたもので、オンラインによる受講の皆様には会場受講と全く同様な配布資料等により受講頂く事に致しました。また、今回も日本医師会生涯教育制度の認定を頂く予定です。

ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

令和 3 年 3 月 吉日

NPO 法人 NBCR 対策推進機構

会 長 片 山 虎之助

理 事 長 井 上 忠 雄

第4回「消防職員等や医療従事者のための CBRNE テロ・災害と現場の対応担当者養成講習会」

－ 消防職員等や医療従事者の CBRNE 災害対策担当者等が知っておくべきこと － (案)

(1級認定コース) について

主催 NPO法人 NBCR対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会 (申請中)、全国消防長会 (申請中)

■ 趣旨

最近、ロシアにおける神経剤「ノビチョック」による殺人未遂事件やシリア・イラク等ではサリン・マスタードガスや塩素などを使った化学テロ等が頻発しています。また、マレーシアの空港では猛毒の VX による殺人テロ事件やスリランカにおける爆弾テロ等が起こっています。幸い我が国では1994・1995年のサリン事件以降、CBRNEを使用した大規模なテロ事案は発生していませんが、2015年には猛毒リシンを焼酎に混入させた殺人未遂事案や多くの化学災害事案・爆発物の製造等の事案が起きています。一度 CBRNE テロや CBRNE 災害が発生すると多くの傷病者が発生します。地下鉄サリン事件では6300人が被害に逢い、その多くが280の病院で受診し、95余の病院に約1,000人が入院し加療を受けました。CBRNE 災害では、検知・警報、防護、除染、医学的対応が重要ですが、特に生命の救出に関わる医学的対応が重視されています。平素から消防職員等や医療従事者は CBRNE テロ・災害等の関連情報を収集・評価し、最新の情報・経験を踏まえてテロ対策等を見直した現場訓練や講習を実施する必要があります。

今回の講習会では、東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、化学テロ・化学災害、バイオテロ・バイオ災害、放射線テロ・放射線災害、核災害、爆発物テロ・爆発物災害等 CBRNE 災害全般に亘り、現場の対応を主軸に、消防と医療の連携も含め、対処能力の向上に真に役立つ現場対策等を現在、日本の夫々の分野で活躍中の第一人者の講師の先生方に講義して戴きます。

■ 講習対象者

消防関係職員、救命救急医、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者等

■ 認定証発行

講習修了時認定試験を行い「CBRNE 災害対策危機管理者認定証 (1級)」を発行し当機構での認証を行います。

■ 講習日時等

講習日時	受付締切	定員
令和3年6月27日(日) 9:00~17:00	6月7日(月)	・オンライン受講: 100名 ・会場受講: 10名

■ 細部

※ カリキュラム:

付紙-1

※ 申込: オンライン受講の場合はEメールにて、弊機構事務局宛<info@nbc-r-taisaku.com>にお申込みください。申込方法は、Eメールタイトル「6月現場の CBRNE 対策講習会申込」、メール本文に、①オンライン受講か会場受講のどちらか一方を明記、②受講者氏名(ふりがな)、③所属、④請求書あて名、⑤講義資料郵送先となる郵便番号・住所・建物名・受取人名、⑥電話番号、⑦Eメールアドレス、⑧弊機構の会員有無を記載、⑨弊機構からの次回講習会案内DM配信の希望有無ならびにDM受信用Eメールアドレスの記載をお願いします。会場受講の場合は、Eメール・FAX(FAX申込書 付紙-2)どちらからでも申込可能です。

※ 場所: 〒135-0047 東京都江東区富岡1-26-15 飯田ビル5F (株)エピオス セミナールーム

※ 締切: 先着定員になり次第申込を締め切り。オンライン受講者・会場受講者の合計が30名以下の場合は延期し順延の通知。

※ 費用: 2万円(個人正会員: 1.5万円) 会場受講・オンライン受講に金額に差はありません

■消防職員等や医療従事者のための CBRNE テロ・災害と現場の対応担当者養成講習会カリキュラム (案)

日	時 間	科 目	講 師	
令和 3年 6月 27日 (日)	09:00~09:10	※ オリエンテーション	NBCR 対策推進機構 理事長 井上 忠 雄	
	09:10~10:00	1 災害と医療対策 —救急医療の側面から—	日本医師会 常任理事 長 島 公 之 先生	
	10:00~11:00	2 化学テロ・化学災害と医療対策 —東京オリ・パラ大会等で気を付けるべき点 等—	医療法人社団元気会 横浜病院長 箱 崎 幸 也 先生	
	11:00~11:10	休 憩 (10分)		
	11:10~12:00	3 生物テロ・バイオ災害の動向と対策 —東京オリ・パラ大会等で気を付ける点等—	防衛医科大学校 広域感染症疫学・制御研究部門 教授 加 来 浩 器 先生	
	12:00~12:50	休 憩 (昼 食)		
	12:50~13:50	4 放射線テロ・放射線災害と対策 —東京オリ・パラ大会等で気を付けるべき点 等—	東京医療保健大学大学院 教授 (元量子科学技術研究開発機構 上席研究フェロー) 明 石 真 言 先生	
	13:50~14:40	5 爆発物テロ・爆発物災害と対策 —東京オリ・パラ大会等で気を付けるべき点 等—	(公財) 総合安全工学研究所 事業部 長 (元科学警察研究所部長) 中 村 順 先生	
	14:40~15:30	6 消防と医療の連携 —東京オリ・パラ大会等で気を付けるべき点 等—	(有) 報恩会 代表取締役社長 (元東京消防庁防災部長) 伊 藤 克 巳 先生	
	15:30~15:40	休 憩 (10分)		
	15:40~16:30	7 CBRNE 災害対策器資材 —取り扱いと対策等—	東京消防庁装備部長 石 川 義 彦 先生	
	16:30~16:35	休 憩 (5分)		
	16:35~16:55	8 試 験		
	16:5~17:00	修了証 ならびに 認定証付与		

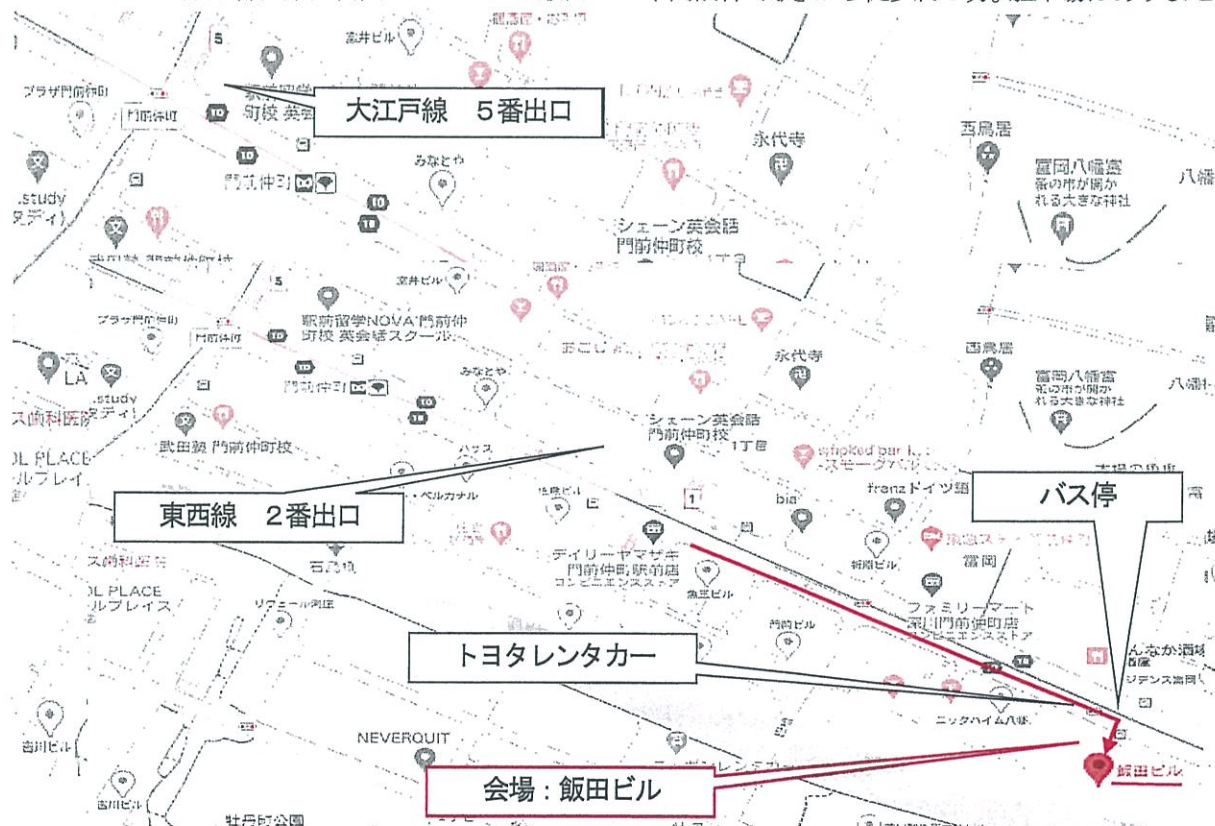
*会場、講義の順序、講師については、やむを得ない事情で、変更する場合がありますので、ご承知おきください。

「CBRNE テロ・災害と医療対策担当者養成講習会」会場受講専用申込書
(テレワーク対応のため、Eメールからの申込をお願いします)

申込締切	令和3年6月7日(月)		
申込先 FAX	03-5829-6197		
申込者(所属・団体名、 取り纏め担当者氏名)			
受講者 ※ 楷書にて分かりやすくご 記入下さい。	氏名(ふりがな)	所属	職名
	()		
所在地	〒		
連絡先	Eメールアドレス(必須): 電話番号(必須):		FAX番号:
会員の方は ○でお囲みください	NBCR 対策推進機構 : 個人正会員 ・ 団体会員		
要望事項 請求書の宛名等			

●会場受講場所 : (株)エピオス セミナー・ルーム

〒135-0047 東京都江東区富岡 1-26-15 飯田ビル(「門前仲町駅」から徒歩約8分。駐車場はありません)



連絡先 NBCR 対策推進機構 TEL:03-5829-6187 Eメール:info@nbc-taisaku.com 担当:阿部剛士